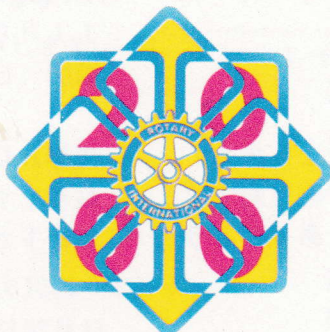




THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:  
ACT WITH  
CONSISTENCY  
CREDIBILITY  
CONTINUITY



ロータリー2000:

活動は—堅実、  
信望、持続

1999～2000年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリー財団月間

第617回 平成11年11月17日(水)

〔本日のプログラム〕

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 点        | 鐘 |
| 2. ロータリーソング |   |
| 「手に手つないで」   |   |
| 3. 食        | 事 |
| 4. 会長の時     | 間 |
| 5. 幹事報      | 告 |
| 6. 委員会報     | 告 |
| 7. 点        | 鐘 |

次回予告

★11月24日(水)  
社会奉仕賞贈呈

★12月1日(水)  
12月セレモニー  
会員卓話  
浜田 松太郎君  
理事・役員会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会長	福井 輝文
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	梶田與之助
事務局	宮崎郡佐土原町大字下郷3887-17	幹事	恒吉 正志
	☎880-0212	会計	林 厚雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会費帳	池田 仁志

## 第 6 1 6 回例会記録

(1999. 11. 10)

### ☆会長の時間

会長 福井 輝文君

皆様 今日は

第616回の例会です。

先ず始めにビジターの紹介をします。  
西都RCよりお越しの、日野直実君です  
ようこそお出で頂きまして、ありがとうございます。

一つお断わりをしておきます。

本日は第2水曜で夜間例会のところでしたが、急遽の例会曜日変更で事務的に混乱してしまい、1週間ずれてしまいました。皆様のご理解をいただきたいと思います。

宮崎北RCの30周年記念式典出席に対してお礼の手紙が来ております。

簡素でとても立派な式典でした。

2002~2003 年度のガバナーに宮崎RCの大淵達郎君が、ノミネートされました  
宮崎RCよりその際の協力依頼がきております。

石崎浜荘を我々RCが例会場として利用している訳ですが、ここに、『ロータリーの森』もしくは『ロータリーの花壇』を創ろうではないか、ということで、佐土原町役場に申出したところ、了解を得ました。

維持、管理もあり、どういう風に進めていくか、皆様と話し合いをしたいと思います。

### ☆幹事報告

幹事代理 吉田 康一郎 君

#### 1. 例会変更及び休会通知

11月9日(火)は『職場訪問』の為  
場所 日向青果卸市場に変更

日向東 RC.

西都RCより11月の予定表がきて  
おります。必要な方は事務所に問い合わせ下さい。

#### 2. 地区大会について

11月20日(土)開催の地区大会について、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 集合場所 佐土原町役場 駐車場

2. 集合時間 午前 7:00

3. 宿泊予定者 17日(水)迄に

クーポン券分(10,000円)

を集金します。その他、  
飲み物代、諸税金等は割り勘にて、後日集金致します。

### ☆出席報告

委員長代理 田村 勝二 君

会 員 数	26名
例 会 出 席 者	19名
出 席 率	73%
メークアップ者数	3名
修正出席率	85%

### ☆親睦委員会

委員長 吉田 康一郎 君

歯車会ゴルフコンペの件



## ☆ 会員卓話

徳丸 彰一 君

### 『危機にさらされる日本』

危機という場合、2つの型が考えられる。

1. 戦争や災害や大事故など、突発的に発生し、人の生命、財産に被害が及ぶ危機
2. 日本の政治、経済、社会に日々発生事柄の背景に発生し、ややもすると国民が気付かない間に、国民の安全や生活を脅かし、あるいは国力を弱め、国家としての危機がある。

今回、2番目の危機について述べてみたい

今日の日本にはおびただしい情報にもかかわらず、国民は何が本当に自分にとって大事なことなのか、見えにくくなっている。

- 1) 永田町と国民との間のカベ  
あつい壁に遮られ、良い話が少しだけしか届いてこない。
- 2) 情報に弱い国柄  
戦後50年、国家同士間の【情報戦争】から目を背けてきたので、個人、企業政治家、すべてが情報戦略に鈍感になってしまっている。
- 3) 日本経済はマフィア化していく？  
この危機が国民の前に指摘されず、覆い隠される恐れさえ感じられる。  
バブル期を介して、以前の(b)は経済面

で想像もできないような力をもった組織となっている。

- ①バブル最中に“地上げ”を中心に(b)と企業（金融機関、一般企業、公益法人など）との間に広汎、多岐且つ深刻な関わりができた。
- ②金融支配への道  
銀行をはじめとする莫大な不良債権の情報を把握している。
- ③(b)とは、『暴力の威嚇を背景に、カネになるものなら何にでも手を出す職業的犯罪者』とされている。

以下、タブーがもたらす日本の危機。そして危機を克服するには……と続きますが、又、次回といたします。

(参考文献 新潮社 宮脇らい介著『騙されやすい日本人』  
(覆い隠されている危機の構造) )

